

平成22年12月13日

各 位

株式会社 紀陽銀行

**ESCOを活用した環境負荷低減活動を実施  
～紀陽銀行 向芝オフィスの省エネルギー化を推進～**

株式会社紀陽銀行（本店：和歌山市、頭取：片山 博臣、以下「紀陽銀行」）は、オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：梁瀬 行雄、以下「オリックス」）と ESCO サービス契約を締結し、紀陽銀行の向芝オフィス（和歌山市中之島の業務センター兼データセンター）の空調設備の更改に関する ESCO 事業を実施しますので、お知らせします。

今回の事業は、向芝オフィスの空調設備を最新の高効率機器へ入れ替えるものです。高効率化により、ビル全体の CO2 排出量の削減とエネルギーコスト削減を同時に実現する取り組みで、オリックスは省エネルギー量の保証を行います。また、設備の導入から導入後のアフターメンテナンス、省エネルギー効果の検証に至るまで、ワンストップで紀陽銀行をサポートします。

今回の取り組みにより、削減される CO2 排出量は年間 128t-CO2 となる見込みで、紀陽銀行全体の CO2 総排出量（約 7,300t-CO2）の約 2%にあたります。これは杉の木が年間に吸収する CO2 量に換算すると、約 9,100 本分（\*1）に相当します。

紀陽銀行は、自然豊かな和歌山県を本拠とする企業として、地球環境に配慮する「環境にやさしいクリーンな銀行」を目指しています。今回の高効率設備の導入をはじめ、太陽光発電パネルを設置した環境配慮型店舗の運営など、省エネルギー化を推進しています。

また、地域のお客さまに対しては、工場、商業施設、倉庫、ホテル、学校など、用途に応じたさまざまな事業所への ESCO 事業の提案、導入設備の効率的な資金調達をサポートする目的で、2008年12月にオリックスと ESCO ファンド事業において業務提携するなど、積極的に地域の環境負荷低減の活動を推進しています。

紀陽銀行とオリックスは、紀陽銀行が有する地域のお客さまとの深いネットワークと、オリックスが有する環境をはじめとするさまざまな事業ノウハウを生かし、地域のお客さまへ今後も新しい付加価値を提供してまいります。

以 上

(\*1) 地球温暖化防止のための緑の吸収源対策（環境省・林野庁）

## 【ご参考】

### ■紀陽銀行における地域の環境保全に向けた取り組み

#### 【当行における取り組み】

項目	内容
ISO14001 の認証取得	本店を対象に環境の国際規格である ISO14001 の認証を取得し、環境に配慮した活動を実施。
クール・ビズの実施	夏期に役職員の服装をエコスタイル（クール・ビズ）とし、冷房中の室内温度を高め設定することで省エネルギー化を実施。
低燃費営業車両の導入	車両更改時、低排出ガス車や低燃費車を積極的に導入。役員車については一部ハイブリッド車を導入。
太陽光発電の導入	本年 11 月 22 日に新築移転した田辺支店の屋上に太陽光発電パネルを設置。
再生材を使った浄化槽の導入	本年 11 月 22 日に新築移転した田辺支店にペットボトルから再生した浄化槽を設置。
LED 照明の導入	一部店舗にて消費電力が少なく長寿命の LED 照明を採用。
グリーン電力証書の共同購入の実施	地銀 41 行とともに自然エネルギーの発電をもとに発行される「グリーン電力証書」を共同購入し、地球温暖化防止に取り組む。

#### 【お客さま向けの取り組み】

項目	内容
環境関連金融商品の提供	ISO 認証取得や環境に配慮した設備投資向け融資、ソーラーローン、エコ車両購入向けローン等の商品を取り扱う。
環境融資への取り組み	① 三菱東京 UFJ 銀行と「環境融資等に関する業務協力協定」を締結し、両行が連携して地域環境の保護ならびに環境事業の支援に積極的に取り組み、地域企業の発展・地域経済の活性化に貢献。 ② オリックスと「環境負荷削減支援事業」に関する基本契約の締結を行い、地元企業への ESCO 事業の推進を実施。